

## FACSIMILE EQUIPMENT

**Publication number:** JP5063883 (A)

**Publication date:** 1993-03-12

**Inventor(s):** HORII NOBUHIRO

**Applicant(s):** KYOCERA CORP

**Classification:**

- international: **H04N1/00; H04N1/00; (IPC1-7): H04N1/00**

- European:

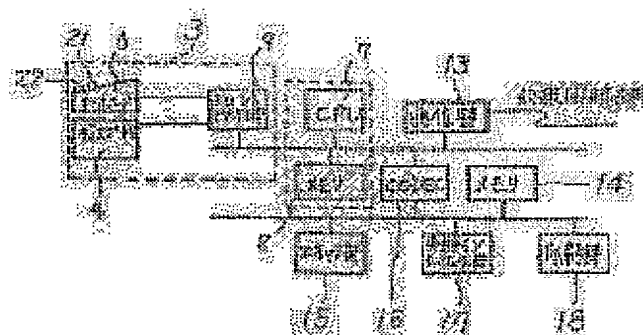
**Application number:** JP19910242612 19910828

**Priority number(s):** JP19910242612 19910828

### Abstract of JP 5063883 (A)

**PURPOSE:**To improve the operability and to enhance the job efficiency by preventing confusion and mistake caused when any of plural functions executed simultaneously is stopped.

**CONSTITUTION:**The facsimile equipment is provided with a display means 4 on which a standard message indicating a main function and a detail message indicating other function executed simultaneously are displayed individually, means 3, 6 selecting the messages alternately, and means 6, 21, 22, 9, 7 stopping the function during processing and execution in relation to the messages displayed on the display means 4 individually. Thus, the processing and execution of a desired function among plural functions during simultaneous processing and execution are surely stopped.



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(11)特許出願公開番号

特開平5-63883

(43)公開日 平成5年(1993)3月12日

(51)Int.Cl.<sup>3</sup>

H 0 4 N 1/00

識別記号

106 B 4226-5C

107 A 4226-5C

厅内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 6 頁)

(21)出題番号

特願平3-242612

(22)出題日

平成3年(1991)8月28日

(71)出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市山科区東野北井ノ上町 5 番地  
の22

(72) 発明者 堀井 信宏

三重県度会郡玉城町野篠又兵衛704-19

京セラ株式会社三重玉城工場内

(74)代理人 弁理士 山本 義明

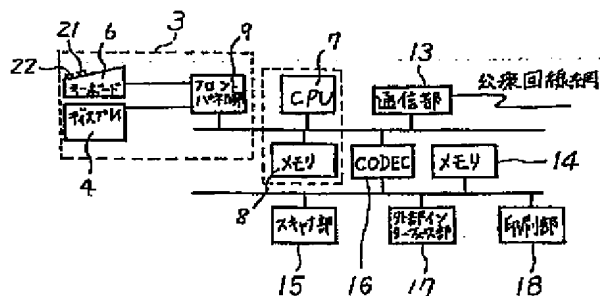
(54)【発明の名称】      ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【目的】 同時処理実行中の複数の機能のいずれかを停止させるときの混乱、錯誤を防止して操作性を改善すると共に、作業能率を向上させた、ファクシミリ装置を提供する。

【構成】 メイン機能を表示する標準メッセージと同時に処理が実行されている別の機能を個別に表示する詳細メッセージが表示される表示手段４と、前記メッセージを交互に切替える手段３、６と、前記表示手段４に表示されるメッセージとの関連において処理実行中の機能を個別に停止させる手段６、２１、２２、９、７とを有する。

【効果】 同時処理実行中の複数の機能のうち所望の機能の処理実行を確実に停止させることができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 原稿の送受信機能の他にコピー機能やメモリ送受信機能等の複数の機能を兼ね備え、複数の機能を同時処理可能なファクシミリ装置において、予め定められた機能とメイン機能を同時に表示する標準メッセージと、前記メイン機能と同時処理が実行されている別の機能を個別に表示する詳細メッセージを表示する表示手段と、この表示手段に表示される前記標準メッセージと詳細メッセージとの交互の切替えを行う表示モード切替え手段と、前記表示手段に表示される前記各メッセージとの関連において処理実行中の機能を個別に停止させる停止手段とを有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 前記停止手段がストップキーを押すことにより作動することを特徴とする請求項1のファクシミリ装置。

【請求項3】 前記停止手段がP Cキャンセルキーを押すことにより外部インタフェース部関係の機能の処理実行を停止させるよう作動することを特徴とする請求項2のファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ファクシミリ装置に関し、特にその同時処理中の複数の機能処理実行の停止手段に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来のファクシミリ装置として、原稿の送受信の他にコピー、メモリ送受信機能、或はパソコンと接続してパソコンからのデータの送受信やそのデータのプリント等を行うような、複数の機能を兼ね備え、これらのいずれか複数の機能を同時処理可能なファクシミリ装置がある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、このような従来のファクシミリ装置においては、複数の機能の同時処理時に、いずれかの機能の処理実行を停止させたいとき、各種キーが種々の用途を兼用して煩雑となっているため間違ったキーを押してしまい、停止させたい機能とは異なる機能の処理実行を停止させてしまうことがあったりして、装置の操作性が悪化し、作業能率の低下を招いているという問題があった。そこで本発明は上記問題点を解決することを課題とするものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために本発明は、原稿の送受信機能の他にコピー機能やメモリ送受信機能等の複数の機能を兼ね備え、複数の機能を同時処理可能なファクシミリ装置において、予め定められた機能とメイン機能を同時に表示する標準メッセージと、前記メイン機能と同時処理が実行されている別の機能を個別に表示する詳細メッセージを表示する表示手

段と、この表示手段に表示される前記標準メッセージと詳細メッセージとの交互の切替えを行う表示モード切替え手段と、前記表示手段に表示される前記各メッセージとの関連において処理実行中の機能を個別に停止させる停止手段とを有することを構成とするものである。

## 【0005】

【作用】 このような構成のファクシミリ装置によれば、切替え手段が、表示手段に表示される標準メッセージと詳細メッセージを交互に切替え、この切替えられて表示されたメッセージとの関連において停止手段が処理実行中の機能を個別に停止させることができるため、同時に処理実行されている複数の機能のうちの所望の機能の処理実行を確実に停止させることができ、機能停止時の混乱、錯誤を防止して操作性が改善されると共に、作業能率の向上を図ることができる。

## 【0006】

【実施例】 以下、本発明の実施例について図面に基づいて説明する。図1ないし図5は本発明によるファクシミリ装置の一実施例を示す図である。図1はファクシミリ装置のソフトウェア構成図を示す。これらはすべてカーネル（OS）のもとでマルチタスク制御されており、各タスク間で情報の授受ができるしくみになっている。同図において、符号1はジョブイニシエータを示し、このジョブイニシエータ1は図示する送信ジョブ、受信ジョブ、コピージョブ、プリンタジョブの他、メモリ送信ジョブ、メモリ送信予約ジョブ、メモリ受信ジョブ、ローカルプリンタジョブ（パソコン等の外部装置より送信されたデータをプリンタ出力）等の各処理機能部の動作状態を管理するとともに、各処理機能部で使用するタスク、例えば図示するスキャナタスク、圧縮タスク、送信タスク、受信タスク、伸長タスク、通信タスク、印刷タスクの他、符号化タスク、符号変換タスク等の管理を行う。

【0007】 図1において符号2はフロントパネルタスクを示し、このフロントパネルタスク2はジョブイニシエータ1によって管理される各ジョブの処理状況を表すメッセージを作成する。そのメッセージとしては、処理が実行されている予め定められた機能とメイン機能を同時に表示する標準メッセージと、そのメイン機能と同時に処理が実行されている別の機能を個別に表示する詳細メッセージがある。なお符号3は、前記標準メッセージと詳細メッセージとを交互に切替える表示モード切替え手段を示す。

【0008】 図2は図1に示す構成のソフトウェアを有するファクシミリ装置のハードウェア構成図である。同図におけるCPU7およびメモリ8は、図1におけるジョブイニシエータ1およびフロントパネルタスク2を構成し、図1における表示モード切替え手段3はディスプレイ4、キーボード6、サブCPUを含むコントローラ基板等から構成されるフロントパネル部9から構成され

る。ディスプレイ4には例えば20文字×4行の液晶画面が用いられる。表示モード切替え手段3のキーボード6によって表示モードが切替えられ、ディスプレイ4に前記フロントパネルタスク2により作成されたメッセージが表示され、一連の制御がフロントパネル部9によって行われる。キーボード6には各種操作キー（図示せず）と共に、各ジョブ機能の処理の実行をキャンセルするストップキー21と、外部インターフェース部関係のジョブ機能の処理の実行をキャンセルするPCキャンセルキー22が設けられている。

【0009】ストップキー21はディスプレイ4に前記標準メッセージが表示された場合に押すと、複数のジョブ機能のうちのメインジョブ機能の処理の実行をキャンセル（停止）し、詳細メッセージが表示された場合に押すとその表示されている個別のジョブ機能の処理の実行をキャンセルする。PCキャンセルキー22は、外部インターフェース部関係のジョブ機能の処理の実行をキャンセルする。ストップキー21、PCキャンセルキー22、を押すことによりこのようなキャンセル作業が行われるよう、フロントパネル部9を介してCPU7により制御される。

【0010】なお図2において、符号13は公衆回線網を通じて相手ファクシミリと接続を行う通信部、14はメモリ、15は画像データの読取りを行うスキャナ部、16は送受信イメージデータに所定の圧縮および伸張を施すCODEC（圧縮伸張部）、17はパソコン等の外部装置との間でデータや制御信号等の授受を行う外部インターフェース部、18は圧縮伸張後のイメージデータを記録出力する印刷部である。

【0011】ディスプレイ4には図3に示すような標準メッセージの画面が表示でき、この標準メッセージの画面には表示エリア（a）ないし（e）が決められていて、これらの表示エリアには予め定められたジョブ機能とメインジョブ機能が同時に表示されるようになっている。たとえば表示エリア（a）は日付およびモード表示用、（b）は外部インタフェース用、（c）はプリンタ用、（d）はメインジョブ機能（たとえば直接送信、コピー、送信予約、登録、直接受信等）用、（e）は通信処理仕様やエラー表示用として用いられる。

【0012】ディスプレイ4にはこのような標準メッセージの画面の他に、メインジョブ機能と同時に処理が行われている個別の機能を表示する詳細メッセージの画面が表示される。メイン機能の他に、例えばPCプリンタ、メモリ受信等の独立した機能が装置本体内で同時に処理実行されることがあり、詳細メッセージの画面はそれぞれの処理実行内容を別々に表示させたものである。各機能毎の処理内容メッセージはディスプレイ4の全表示エリアである20文字×4行に納まる範囲内で詳細に表示される。

【0013】ディスプレイ4にはこの他に処理中の機能

毎の一覧リストが表示されるジョブ機能選択画面が表示され、上記標準メッセージや詳細メッセージの各々の画面を選択する際に用いられるものである。

【0014】図4はディスプレイ4に表示される画面の例を示す図であり、同図における（1）は標準メッセージの画面、（2）はジョブ機能選択画面、（3）は詳細メッセージの画面である。この例では、PCプリント動作中にコピーを実行し、その途中でFAXメモリ受信が入った場合を示しており、PCプリンタはWait（WT）状態、コピー（Copy）は動作中（Exec）、FAXメモリ受信（Receive）も動作中である。

【0015】これらの画面の切替えは、便宜上図4中に示してある、表示モード切替え手段3のキーボード6に設けられる表示モードキー10、矢印キー11、YESキー12を用いて行う。ディスプレイ4に標準メッセージの画面（1）が表示されている場合に表示モードキー10を押すと、画面が切替えられてジョブ選択画面（2）がディスプレイ4に表示される。次に矢印キー11を押すことにより矢印状のカーソルを動かして詳細なメッセージが見たい機能を選択し、YESキー12を押すと（3）のような詳細なメッセージの画面がディスプレイ4に表示される。（2）または（3）の画面から再び標準画面（1）に戻すよう切替えるときは表示モードキー10を押せばよく、（3）の画面では表示する処理が終了すると標準画面（1）に自動的に戻る。

【0016】図4に示す標準メッセージの画面（1）がディスプレイ4に表示されているときにキーボード6のストップキー21を押すと、処理実行中のメインジョブ機能として表示されているコピー機能の処理の実行がキャンセルされる。その他の同時に実行されている機能のいずれかの処理の実行をキャンセルしたいときは、表示モードキー10を押すことにより図4の（2）のようなジョブ機能選択画面を出し、矢印キー11を押して例えば3のFAXメモリ受信（Receive）の機能を選択し、YESキー12を押してそのジョブ機能を詳細に表示する詳細メッセージの画面を出してから、ストップキー21を押すとそのFAXメモリ受信機能の処理の実行がキャンセルされる。また、（2）のジョブ機能選択画面から1のPCプリンタの機能を選択し、YESキー12を押して詳細メッセージの画面を出し、それから今度はPCキャンセルキー22を押すとその機能の処理の実行はキャンセルされる。但しこのPCキャンセルキー22の場合は、ディスプレイ4に詳細メッセージの画面を出さなくとも標準メッセージの画面が出ている状態でそれを押すと、PCプリンタの機能の処理の実行をキャンセルできるようにすることができる。

【0017】図5は、ストップキー21又はPCキャンセルキー22が押されたときの装置の動作手順を示すフローチャートである。同図に示すように、ストップキー21又はPCキャンセルキー22が押されたときに発生

10

20

30

40

50

するキー入力信号がキーボード6からフロントパネル部9を介してCPU7に受信されると、そのキー入力信号はPCキャンセルキー22を押すことにより発生したものであるかどうか判別され、YESの場合は外部インタフェース部17関係のジョブ機能の処理の実行がキャンセルされる。NOの場合はストップキー21を押すことにより前記キー入力信号が発生したものであるかどうか判別され、ここでYESと判別された場合はディスプレイ4の表示モードが標準メッセージの画面か詳細メッセージの画面かが判別される。標準メッセージの画面の場合はメインジョブ機能の処理の実行がキャンセルされ、詳細メッセージの画面の場合はディスプレイ4に表示されている機能の処理の実行がキャンセルされる。

#### 【0018】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、切替え手段が、表示手段に表示される標準メッセージと詳細メッセージを交互に切替え、この切替えられて表示されたメッセージとの関連において停止手段であるジョブイニシエータおよびカーネルが機能の処理の実行を停止させることができるため、同時に処理実行されている複数の機能のうちの所望の機能の処理実行を確実に停止させることができ、機能停止時の混乱、錯誤を防止することができると共に、作業能率の向上を図ることができ

＊る。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるファクシミリ装置の一実施例を示すソフトウェア構成図である。

【図2】ファクシミリ装置のハードウェア構成図である。

【図3】ディスプレイに表示される標準メッセージの画面の表示エリアを示す図である。

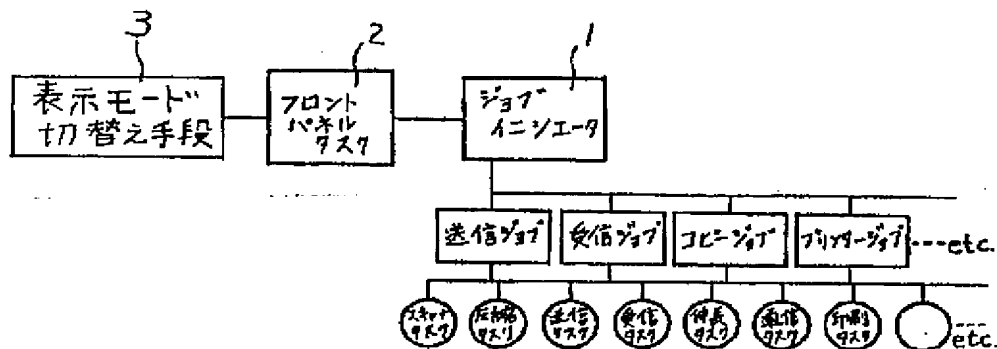
【図4】ディスプレイに表示される表示画面の種類およびその切替えの例を説明する図である。

【図5】各機能の処理実行のキャンセルの手順を示すフローチャートである。

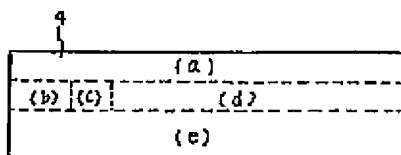
#### 【符号の説明】

- 1 ジョブイニシエータ
- 2 フロントパネルタスク
- 3 表示モード切替え手段
- 4 ディスプレイ
- 6 キーボード
- 10 表示モードキー
- 11 矢印キー
- 12 YESキー
- 21 ストップキー
- 22 PCキャンセルキー

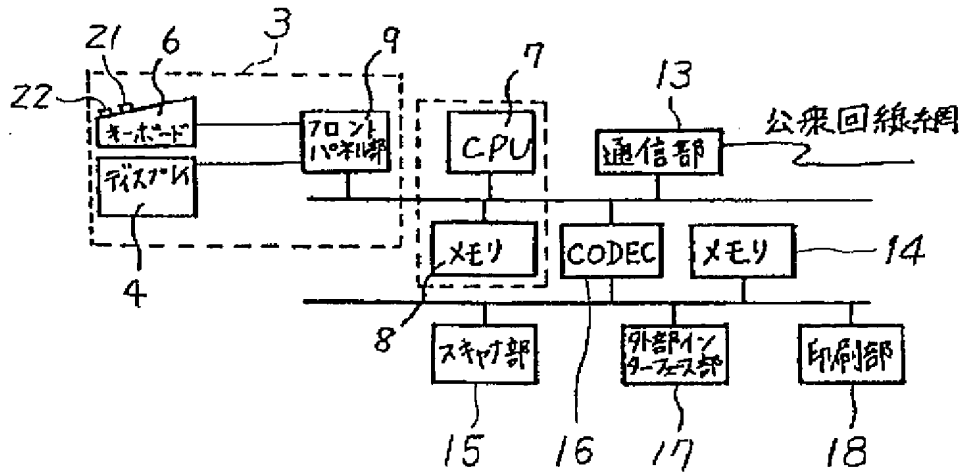
【図1】



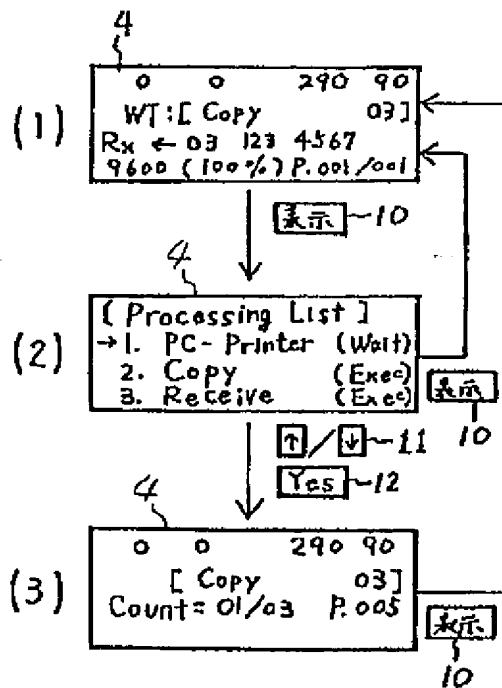
【図3】



【図2】



【図4】



【図5】

